

神は人間を生み

G O D S A N D M O N S T E R S

ゴッドアンドモンスター

人間は怪物を産み落とす



アカデミー賞<最優秀脚色賞> ゴールデン・グローブ賞<最優秀助演女優賞>等、映画賞22部門受賞

製作総指揮:クライヴ・バーカー/監督:ビル・コンドン/原作:クリストファー・アラム/音楽:カーター・バーヴェル/出演:イアン・マッケラン、フレンチ・タムプレイザー、リン・レッドグレイヴ/1998年/配給:ギャガ・コミュニケーションズGシネマ/宣伝協力:©nifty映画フォーラム、日本公開推進委員会



# やがて静かこ G O D S A N D M O N S T E R S

アカデミー賞<sup>®</sup>  
**最優秀脚色賞受賞**  
 主演男優賞／助演女優賞ノミネート

ゴールデン・グローブ賞(ドラマ部門)  
**最優秀助演女優賞受賞**  
 主演男優賞ノミネート

ナショナル・ボード・オブ・レビュー  
 最優秀作品賞／最優秀主演男優賞受賞

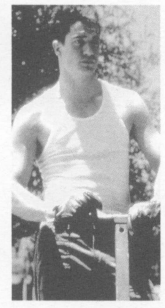
ロサンゼルス批評家協会賞  
 最優秀主演男優賞／最優秀音楽賞受賞

フロリダ批評家協会賞  
 最優秀主演男優賞受賞

等、世界の映画賞22部門受賞、16部門ノミネート

ゴッドアンドモンスター

## ファンの熱意が、「神と怪物」を動かした。



怪物が目を醒ます。

アカデミー賞最優秀脚色賞他、世界の映画賞22部門に輝いた幻の傑作、ファンの強い後押しによりついに劇場公開決定!

『ゴッド・アンド・モンスター』は、ハリウッド黄金期の監督ジェームズ・ホエールの最晩年を題材に、庭師の青年との交流を通して人間の愛と死に迫った意欲作。インディペンデントの小品ながら全米で高く評価され、98年度賞レースの台風の目となった。この作品に惚れ込み、インターネットで公開推進運動を続けてきたファンの組織「日本公開推進委員会」は、配給元に劇場公開を働きかけ、本年2月「一日限りの有料試写会」にこぎつけた。立ち見も出る大盛況となったこの試写の成功を受け、映画ファンコミュニティ@nifty映画フォーラムが委員会の活動に共鳴、公開へと動き出した。そしてついにファンの手による待望の劇場公開が実現する。

伝説的な過去を持つ老人と、真っ白な未来を持つ青年。何の接点もないふたりの人生が交錯したとき、あらたな「怪物」が誕生する。

『フランケンシュタイン』で知られる元映画監督のホエールは、映画界を引退しメイドのハンナと静かに暮らしている。急な発作で入院していたホエールは退院後も記憶が混乱し、自分自身を見失いかけていた。そんな中、彼は新しく雇われた庭師のブーンに興味を抱き、絵のモデルになって欲しいと申し出る。同性愛者であることを隠そうとしない彼に当初は反発を抱いたブーンだったが、次第にこの変わり者の老人と作品世界にひかれていく。やがて二人は奇妙な友情で結ばれるのだが、果たしてホエールの真の目的は…。

英米の精鋭が集まった最高のキャスト、スタッフによる「室内楽のような」アンサンブル。

まさに現代のジェームズ・ホエールとも言える「モダンホラーの帝王」クライヴ・バーカー総指揮のもと、低予算にも関わらず作品を愛した英米映画界の実力派が名を連ねた。

ホエールを「一生ものの役」と自ら語り、魂を揺さぶる名演を披露するのは、タイトの称号を持つ名優で『ゴールデン・ボーイ』『X-メン』のイアン・マッケラン。庭師クレイトン・ブーン役には『ハムナプトラ/失われた砂漠の都』等で最も注目される若手、ブレンダン・フレイザー。繊細な演技でコメディ俳優のイメージを覆した。献身的かつ口やかましいメイド、ハンナを演じるのは英国演劇界の名門出身、『シャイン』『2番目に幸せなこと』のリン・レッドグレーヴだ。

「エレガントで機知に富み、そして恐ろしい…マッケランは一世一代の名演。B・フレイザーも素晴らしい。おかしさと、切なくなるほどの優しさを兼ね備えたレッドグレーヴが最高!」(ローリング・ストーン誌)

「どこから見ても巧みに構成されている…1年の最後に、間違いなく心に残る映画」(NYタイムズ紙)

「マッケランは黄昏の魅力そのものだ」(タイムズ誌)

製作総指揮=クライヴ・バーカー(『ヘルレイザー』監督)  
 監督・脚本=ビル・コンドン(『キャンディマン2』)  
 原作=クリストファー・ブラム「Father of Frankenstein」  
 撮影=スティーヴン・カツツ 編集=ヴァージニア・カツツ  
 音楽=カーター・バーウェル(『ファゴ』『マルコヴィッチの穴』)



●@nifty映画フォーラム <http://www.nifty.ne.jp/forum/fmovie/>  
 ●日本公開推進委員会 <http://www02.u-page-so-net.ne.jp/ka2/take-m/gandm.html>

1998年作品/アメリカ映画/カラー/106分/ドルビーステレオ  
 配給:ギャガ・コミュニケーションズ Gシネマグループ(<http://www.gaga.ne.jp/>)

**3月17日(土)~3月30日(金)限定レイトショー!**

連日 pm8:40より(終了10:30 ころ)

★劇場窓口にて前売特別鑑賞券 1,300円好評発売中!  
 (当日料金:一般1,500円/学生1,300円/シニア1,000円)

梅田スカイビルタワーイースト4F 06(6440)5977

梅田 ガーデンシネマ  
<http://www.cineplex.co.jp>

